

中国民族観光と民族文化の創出 : 湖北省土家族の事例を中心として

著者	? 卿民
ファイル(説明)	博士論文全文 博士論文要旨 最終試験結果の要旨 論文審査の要旨
学位授与番号	17701甲人社研第37号
URL	http://hdl.handle.net/10232/00030847

平成31年2月8日

鹿児島大学大学院人文社会科学研究科長 殿

最終試験の概要及び結果報告書

地域政策科学専攻 氏名 龔 卿民

学位論文題目

中国民族観光と民族文化の創出—湖北省土家族の事例を中心に—

(Ethnic tourism and the creation of ethnic culture in China: With a focus on the case of Tujia people of Hubei Province)

最終試験の概要

学位(博士)論文に関する最終試験を平成31年2月2日に実施した。まず、申請者による学位申請論文の内容説明の後、下記5名の審査委員から論文内容についての質疑と、申請者による応答を行った。申請者の論文は、湖北省の民族観光において恩施土家族の「伝統文化」がどのようにして発掘・選択され、観光資源化され、伝承されてきたのかという問題を地域エリートの視点から明らかにするとともに、民族観光が湖北省の土家族の人々に投げかける今日的意味について考察した事例研究である。

最終試験では、湖北省恩施州において、「女兒会」の発掘から、「土家族の伝統文化」の創出、学校教育や社会における普及・伝承の取り組み、地域エリートの関与の在り方に至るまで丹念に追いかけて記述した点が民族誌的研究として高く評価された。また、民族観光に関係する諸地域の観光施設を精力的に調査しており、中国における民族観光を総合的に捉えようとした試みも評価に値する。

その一方で、「女兒会」という観光文化が恩施土家族の人々によって自分たちの「真の」民族文化と認識されているのか、また、土家族のアイデンティティ形成にどの程度影響しているのかについては、根拠となる現場の声やデータが足りない点が指摘され、さらに、女兒会の実像とイメージの違い、他の民族の風俗習慣との混交、女兒会が現代的若者のニーズに答えている側面があるのかといったことなどについても委員から質問がなされたが、これらに対しては一定の水準を満たす回答が得られた。

以上により、博士(学術)の学位を与えるに十分な学力と見識を有するものと認定した。

授与する博士学位 学術

最終試験結果 合

試験委員

主査 (氏名) 梁 恩 彦

副査 (氏名) 萩 野 勉

副査 (氏名) 渡 辺 芳 郎

副査 (氏名) 曾 士 才

副査 (氏名) 兼 成 系 絵